

鎌倉市公共下水道経営戦略（令和3年度～令和12年度）進捗表（付帯意見項目）

付帯意見	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画・予算
1 取り組むべき事業			
(1) 早急なリスク把握 （污水溢水・道路陥没等防止へ、民間開発団地等調査・中期的調査計画策定）	ア 七里ガ浜処理場（B系）耐震設計 イ ストックマネジメント実施計画策定（山崎処理場） ウ 山崎処理場耐震診断（管理棟他） エ 雨天時浸入水調査詳細調査（大町・材木座地区） オ 下水道管路施設等包括的民間委託開始・業務実施準備（含む民間開発団地の本管、伏越し箇所等の調査）	ア 七里ガ浜処理場（B系）耐震設計（非線形診断） イ ストックマネジメント計画の実施（山崎処理場中央監視基本設計） ウ 山崎処理場耐震診断（B系他） エ 雨天時浸入水調査詳細調査（二階堂地区） オ 下水道管路施設等包括的民間委託業務実施（含む民間開発団地の本管、伏越し箇所等の調査）	ア 七里ガ浜処理場（B系）耐震設計（非線形診断）（繰越） イ ストックマネジメント計画の実施（山崎処理場中央監視実施設計） ウ 山崎処理場耐震診断（A系） エ 雨天時浸入水調査詳細調査（二階堂地区） オ 下水道管路施設等包括的民間委託業務実施（含む民間開発団地の修繕・改築計画の策定）
(2) 予防保全型の管理体制へ （事故抑制・コストの削減・平準化へ、技術者の確保、民間活用、情報システム導入）	ア 電気職の採用なし（合格者辞退のため） イ 日本下水道事業団の活用・ストックマネジメント実施計画策定（山崎処理場） ・山崎処理場耐震診断（管理棟他）	ア 電気職の採用なし（合格者辞退のため） イ 日本下水道事業団の活用・ストックマネジメント計画の実施（山崎処理場中央監視基本設計） ・山崎処理場耐震診断（B系他）	ア 電気職の採用 イ 日本下水道事業団の活用・ストックマネジメント計画の実施（山崎処理場中央監視実施設計） ・山崎処理場耐震診断（A系）

付帯意見		令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画・予算
2 財源確保	(3) 持続型下水道幹線の整備 (計画・設計・用地確保、処理場統合の検討準備)	ア 下水道全体計画への位置付け準備 (県との調整、地質調査) イ 七里ガ浜新ポンプ場(案)から山崎処理場における処理場一元化(案)に整備方針を変更	下水道全体計画への位置付け準備 (県との調整、施設[管渠]計画の検討)	下水道全体計画への位置付け準備 (県との調整、施設[管渠]計画の検討)
	(1) 下水道使用料の適正化 (適正な使用料の確保、基本使用料のあり方の検討)	ア 条例改正(市議会6月定例会) イ 広報(市広報紙、HP、チラシ配付、モニター広告) ウ 上下水道料金管理システム変更(県へ委託)	ア 下水道使用料改定 イ 令和8年度改定準備	ア 下水道使用料改定諮問・審議 イ 下水道使用料改定に係る予算要求
	(2) 繰入金の方向性 (長期的には基準外繰入の減少、使用料とのバランス)	予算31.8億円(計画31.4億円)うち基準外繰入金16.3億円 使用料23.6億円(計画22.8億円)	予算29.6億円(計画29.2億円)うち基準外繰入金8.8億円 使用料27.5億円(計画26.5億円)	予算31.6億円(計画31.2億円)うち基準外繰入金10.6億円 使用料26.7億円(計画26.3億円)
	(3) 健全経営へ(財政収支) (管理の効率化、黒字の維持、積立金の確保)	ア 下水道管路施設等包括的民間委託開始・業務実施準備 イ 汚泥放射能の測定回数減 継続事業：未接続家屋解消のための個別訪問、水洗化等助成制度	下水道管路施設等包括的民間委託業務実施 継続事業：未接続家屋解消のための個別訪問、水洗化等助成制度	下水道管路施設等包括的民間委託業務実施 継続事業：未接続家屋解消のための個別訪問、水洗化等助成制度
3 事業の推進				
(1) 広域化・共同化 (施設・業務)	ア 県検討会への参加(広域化・共同化計画策定) イ 持続型下水道再整備事業において処理場一元化の検討を方針決定	ア 県検討会に継続参加 イ 持続型下水道再整備事業における処理場一元化案の検討	ア 県検討会に継続参加 イ 持続型下水道再整備事業における処理場一元化案の検討	ア 県検討会に継続参加 イ 持続型下水道再整備事業における処理場一元化案の検討

付帯意見	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画・予算
(2) 民間事業者の更なる活用	下水道管路施設等包括的民間委託 開始・業務実施準備	下水道管路施設等包括的民間委託 業務実施	下水道管路施設等包括的民間委託 業務実施
(3) 下水道資産の活用 (エネルギー・資源回収、処理場 空間の利用等)	下水熱（空調、給湯の熱源）の活 用についての検討 継続事業：処理水の鎌倉武道館トイレでの活 用、汚泥焼却灰の建築資材としての活用	山崎処理場における太陽光発電に ついての検討 継続事業：処理水の鎌倉武道館トイレでの活 用、汚泥焼却灰の建築資材としての活用	山崎処理場における太陽光発電に ついての検討 継続事業：処理水の鎌倉武道館トイレでの活 用、汚泥焼却灰の建築資材としての活用
(4) 進捗管理と見直し (進捗評価・見直し、評価体制・ 方法の明確化)	継続事業：下水道事業運営審議会への進捗 報告、報告書等の公表	継続事業：下水道事業運営審議会への進捗 報告、報告書等の公表	継続事業：下水道事業運営審議会への進捗 報告、報告書等の公表
(5) 市民理解の促進	ア 鎌倉駅地下道ギャラリーに下水 道の重要性、料金改定等について のパネル展示 イ 料金改定等について市広報紙へ 掲載（9月1日号、3月1日号） ウ 検針票とともに料金改定に係る お知らせの全戸配布（2回） 継続事業：施設見学の受入（通年）、夏休 み親子下水道教室、「鎌倉市下水道週間」 （9月）に合わせ、ポスター掲示、市広報紙 に普及率等掲載	継続事業：施設見学の受入（通年）、夏休 み親子下水道教室、「鎌倉市下水道週間」 （9月）に合わせ、ポスター掲示、市広報紙 に普及率等掲載、啓発グッズの配布	継続事業：施設見学の受入（通年）、夏休 み親子下水道教室、「鎌倉市下水道週間」 （9月）に合わせ、ポスター掲示、市広報紙 に普及率等掲載、啓発グッズの配布